

―特集―

在宅リハの 新潮流

意欲を引き出すアプローチ

在宅でのリハビリテーションは、資源にあふれています。

日課や習慣、暮らしの工夫から地域住民のつながり、その地域ならではの強みまで、アレンジ次第で、どんなことでも「その人の回復」のためになります。

支援者に求められるのは、療養者の意欲Ⅱ「〇〇がしたい」を引き出すこと。
そして、それを最大限に活かすこと。

本特集では、どこまでも「療養者主体」でリハビリを編み出すセラピストや訪問看護師たちの考え方と実践事例を紹介します。

企画協力 ● 川田尚吾（筑波大学医学医療系地域総合診療医学／医療法人社団オレンジ）